

平成22年3月15日

各位

上場会社名 アイホン株式会社  
 代表者 代表取締役社長 市川 周作  
 (コード番号 6718)  
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 安藤 正道  
 (TEL 052-682-6191)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月26日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,800	300	300	200	10.41
今回発表予想(B)	30,500	600	700	400	20.81
増減額(B-A)	△1,300	300	400	200	
増減率(%)	△4.1	100.0	133.3	100.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	35,635	958	1,136	391	20.00

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	29,500	200	300	140	7.28
今回発表予想(B)	28,000	200	350	100	5.20
増減額(B-A)	△1,500	—	50	△40	
増減率(%)	△5.1	—	16.7	△28.6	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	33,380	525	528	76	3.92

## 修正の理由

日本国内の新設住宅着工戸数が低水準で推移した影響や海外の主力市場である北米を担当するアメリカ子会社が経済停滞の影響などを受けたことにより、売上高は前回予想数値より減少する見込みとなりました。

一方、売上高の減少の影響があったものの、グループとしての在庫高を減らしたことで、連結決算上において利益から差し引くべき「在庫に含まれる未実現利益」が減少したことで営業利益が増加となったこと、また販売促進費の見直しなど経費削減の取り組みを強化したことなどにより、連結の利益につきましては、前回予想数値を上回る見込みとなりました。

## (注)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以上